



「天神橋水管橋架設工事」

配水本管は、16吋を以て起こり雑賀町七丁目にて10吋管を分岐し、其の分岐管は同町六丁目にて8吋管となる。

これが付近一帯の配水支管となり、本管は本丁に至り6吋管を分岐し、乃木方面の配水支管とし北行、豎町を通過し天神川を越え天神町に至り、右に8吋管を分岐し白潟本町に達し10吋管を分岐、本管以東の支管となし、本管は更に進んで大橋を渡り新材木町方面の配水支管8吋管を分岐し末次本町に至り二条に分る。

天神川水管橋は、16吋の鉄管を28間6分（52m）配列し大正6年に完成した。

（写真は県の天神橋改架に伴い、仮水管橋を架設しているもの）